

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成30年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立育精福祉センター成人寮	所管課	福祉保健部 障害福祉課
所在地	南アルプス市有野3303-2	設置年月日 (改築年月日等)	昭和47年4月1日
管理方式	社会福祉法人山梨県手をつなぐ親の会		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立障害者支援施設設置及び管理条例		
設置目的	知的障害者に必要な指導及び訓練を行い、自立した日常生活や社会参加を図るため。		
主な施設内容 (定員等)	<ul style="list-style-type: none"> ○敷地面積: 79,970㎡(児童寮を含む) ○建築延面積: 3,236.11㎡ ○建物の構造: 鉄筋コンクリート造平屋建、鉄骨造 ○施設の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・成人一寮棟(鉄筋コンクリート造平屋建) 1,312.60㎡ ・成人二寮棟(鉄筋コンクリート造平屋建) 1,429.65㎡ ・療育棟(鉄筋コンクリート造平屋建) 342.60㎡ ・管理棟及び車庫の一部 151.26㎡ ○各障害福祉サービス定員 <ul style="list-style-type: none"> ・生活介護: 105人 ・短期入所: 9人 ・施設入所支援: 90人 		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> (1)施設等の維持保全に関する業務 <ul style="list-style-type: none"> ・施設及び設備器具の維持保全に関する業務を行う。 (2)利用者に対する障害福祉サービス業務 <ul style="list-style-type: none"> ・生活介護、短期入所及び施設入所支援に係る業務を行う。 		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	<ul style="list-style-type: none"> ・あゆみの家: 自立訓練(通所 22人、夜間 20人)、短期入所(2人) ・梨の実寮: 生活介護(52人)、就労移行支援(6人)、就労継続支援B型(12人)、施設入所支援(50人)、短期入所(6人) ・あさひワークホーム: 生活介護(38人)、就労移行支援(8人)、就労継続支援B型(34人)、施設入所支援(40人)、短期入所(5人) ・あけぼの医療福祉センター成人寮: 生活介護(45人)、自立訓練(機能訓練)(15人)、施設入所支援(40人)、短期入所(15人)
---------------------	--

3 利用状況

単位:人、%

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (目標値)
利用者数	生活介護	101	101	101	
	短期入所	11	11	13	
	施設入所支援	90	90	88	
	利用者数合計	202	202	202	
	目標値	204	204	204	204
	目標値設定の考え方及びその理由	定員を目標値とする。			
	対28年度比		100.0%	100.0%	
利用率	99.0%	99.0%	99.0%		

4 指定管理業務の収支状況

単位:円、%

		平成29年度	平成30年度 (計画値)	平成30年度 (実績値)	令和元年度 (計画値)
収入	施設利用料	436,281,779	443,378,250	447,474,580	439,360,990
	指定管理者委託料	0	0	0	0
	その他	492,612	430,200	579,279	373,200
	収入合計(A)	436,774,391	443,808,450	448,053,859	439,734,190
支出	人件費	297,729,736	323,149,600	311,385,627	349,612,500
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	124,510,850	120,658,850	129,997,398	90,121,690
	うち外部委託費(B)	12,036,308	14,600,000	14,842,626	15,000,000
	支出合計(C)	422,240,586	443,808,450	441,383,025	439,734,190
収支差額(A-C)		14,533,805	0	6,670,834	0
外部委託比率(B÷C)		2.9%	3.3%	3.4%	3.4%
利用者一人当たりの経費		2,162,249.5	2,175,531.6	2,218,088.4	2,155,559.8

5 利用者満足度(アンケート様式は別添のとおり)

実施方法等	実施期間:平成31年1月 調査方法:利用者へのアンケート 回答数: 100人
-------	--

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
相談・要望対応	56.0%	38.0%	6.0%	0.0%
プライバシー	60.0%	32.0%	6.0%	2.0%
食 事	77.0%	17.0%	5.0%	1.0%
入浴・身だしなみ	69.0%	23.0%	7.0%	1.0%
健康管理	75.0%	22.0%	3.0%	0.0%
買い物・外出	54.0%	33.0%	13.0%	0.0%
施設全般の満足度	55.0%	38.0%	6.0%	1.0%

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ①施設を出て社会に出たい。 ②自動販売機の増設 ③センター内にコンビニエンスストアが欲しい。 ④買い物や外出にもっと行きたい。 ⑤もっと本を読んだりテレビを見る等余暇を充実したい。 ⑥風呂の湯がぬるい。 ⑦きれいな建物に立て直してほしい。 ⑧センターの皆で旅行に行きたい。 ⑨家で生活したい。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ①計画相談の中で順序を追って、地域移行の計画を立て実施していきます。 ②いくせい会(利用者自治会)の中で検討していきます。 ③現在のところ難しいですが、近くのセブンイレブンやローソンがあるので寮の職員と買い物の計画について検討をしていきます。 ④寮の職員と計画に付いて検討をしていき、満足のいくものにしていきます。 ⑤寮の職員と余暇活動に付いて検討をしていき、必要な物は購入していきます。 ⑥毎年要望が出ています。ボイラーの問題なので県と協議をしていますが、入浴時間の調整など対応していきます。 ⑦その都度改修していきます。全面的な建替えは、40年後くらいです。 ⑧皆での旅行は難しいですが、各寮でそれぞれ計画していきますので、要望を伝えて下さい。 ⑨家族と相談して外泊の機会を検討していきます。

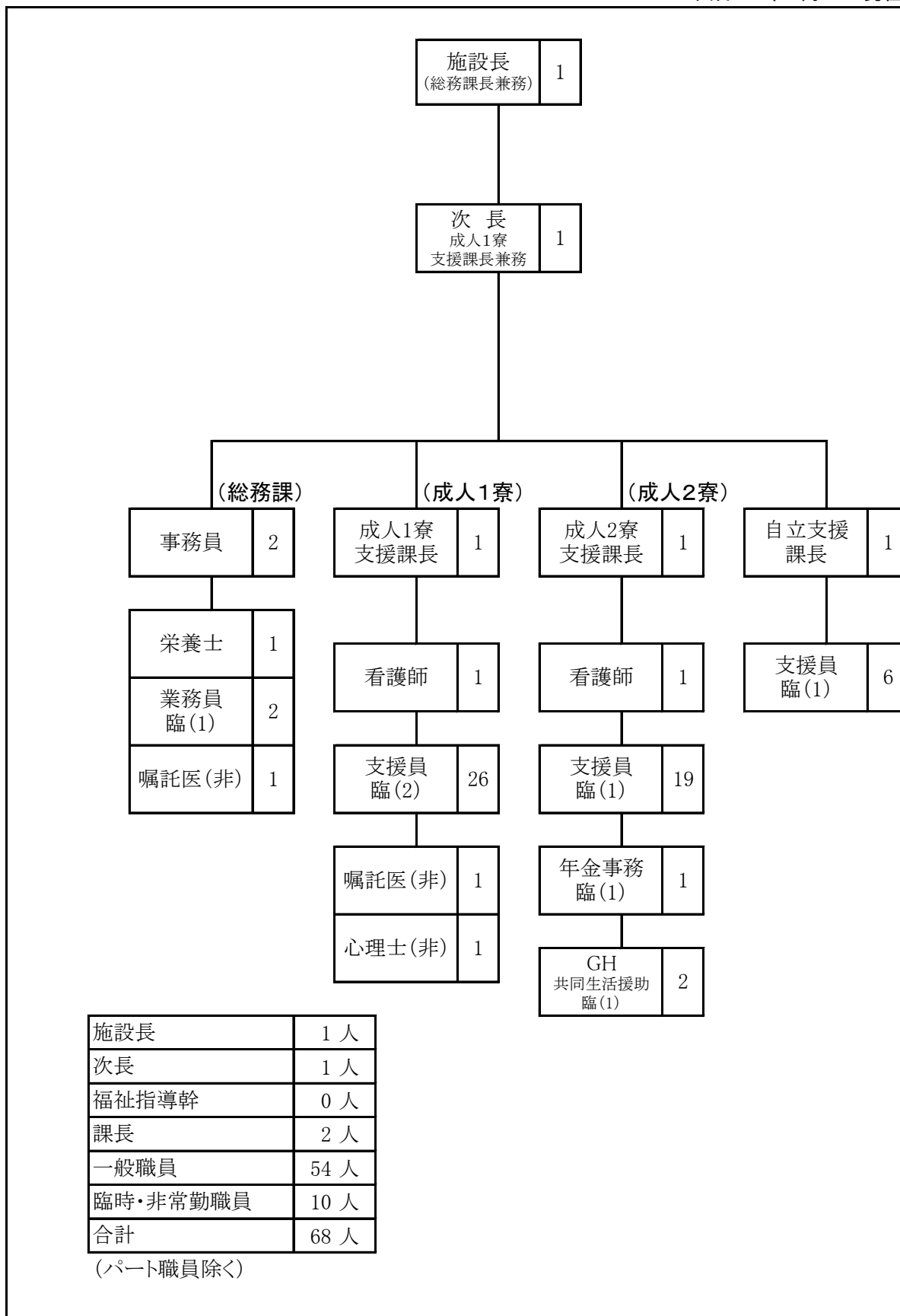
6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>施設の不具合について、速やかな対処ができています。業務仕様書等に基づき、適正に業務を執行した。</p> <p>平成29年度から、利用者の重度化・高齢化に対応するため、特殊浴槽を設置し、利用者が安全に生活できるよう、施設のバリアフリー化を推進している。平成30年度においても、利用者の高齢化に合わせて、居室床、壁などへのクッション材配置などを実施している。</p>	<p>業務仕様書、業務計画書どおり適正に実施されている。</p> <p>施設・設備の老朽化が目立つことから、利用者の安全性や利便性に留意し、保守点検及び日常業務の中で異常が確認された場合は、早急に対応すること。</p>
運営業務	<p>個人の尊厳を尊重し、個人のニーズに合った支援を行い、重い障害のある方や高齢の方に、安全かつ安心して生活できる場を提供していくとともに、音楽療法や作業活動、余暇活動・乗馬療法など日中活動を充実して利用者の生活の質を高めるよう、事業計画書に基づき、適正に業務を執行した。短期入所の拡大など、在宅障害者のニーズに応じて開かれた施設運営を行っている。</p>	<p>事業計画書に基づき適正に実施されている。今後も引き続き利用者個々の特性に鑑みた個別支援計画を策定し、質の高いサービスの提供のために努力されたい。</p> <p>今後とも、利用者の重度化・高齢化に対応した支援を推進するよう努力されたい。</p>
利用状況	<p>利用者の生活支援を行なう、生活介護では通所利用者等、在宅障害者の利用が多くなり定員一杯の状況である。</p> <p>その他の各サービス事業の年間利用については、障害者やご家族の個々の状況に必要なサービスを実施しており、概ね計画どおりの執行を行っている。</p>	<p>概ね計画どおりの利用が図られている。引き続き質の高いサービスを提供し、利用者数を維持すること。</p>
収支状況	<p>昨年度同様、施設の利用率が高く、施設利用料は増収となった。</p> <p>引き続き、収入増への努力をする一方で適切な支出に努め、安定的な運営ができるよう取り組んでいる。</p>	<p>施設の安定的な運営を行うためにも、施設・設備の計画的な修繕及び経費の節減に努めるとともに、利用料収入の確保に努力されたい。</p>
自主事業	<p>事業計画書に基づき、適正に業務を執行した。</p> <p>また、育精成人寮がバックアップ施設となるグループホーム(みっとホーム)が平成30年5月22日に開所し運営を行っています。</p>	<p>自主事業である日中一時支援やグループホーム(みっとホーム)による生活援助について事業計画書に基づき、適正に実施されている。</p>
利用者満足度	<p>「満足」「どちらかといえば満足」との回答が多く出ている。</p> <p>今後においても、利用者の満足度を上げられるよう、生活全般にわたり見直すとともに、安全、安心な環境となるよう引き続き努めていく。</p>	<p>全体的には満足を得られているものの、買い物・外出や居住項目では不満足と感じている利用者の割合が高いことから、引き続き利用者のサービス向上のために努力すること。</p>

<p>運営目標の達成状況</p>	<p>重い知的障害のある方が自立した生活を送ることができるよう、個別支援計画に沿った生活支援を行うとともに、定期的な評価・アセスメントを実施することで、利用者ニーズに合った質の高いサービスを適時に提供できた。</p> <p>個々の利用者の状況を把握し、必要に応じた支援を行うことにより、利用者の生活の質を向上させることができた。</p> <p>利用者数は、生活介護104名、施設入所支援88名、短期入所16名・延べ1269日と昨年同様高い利用実績であり、事業計画どおりの業務ができている。</p>
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>利用者数は増加傾向にあり、利用者の満足度が高く、保護者との関係も良好である。</p> <p>個々の利用者の状況にあった個別支援計画に基づき、質の高いサービスを提供しつつ効率的に運営している。</p> <p>利用者ニーズの把握に努め、利用者サービスの向上に努力している。</p> <p>障害者支援施設として適切な運営を行っている。</p>
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>引き続き利用者の満足を得られるよう、質の高いサービスの提供に努めていく。</p> <p>今後も、条例、協定等に基づき施設管理運営業務を適正に履行していく。</p> <p>利用者や保護者の意向や生活状況を踏まえて、自立した生活が営めるよう個別支援計画を作成し必要な支援を行っていく。</p> <p>利用者の重度化・高齢化に対応した職員の資質の向上に努めていく。</p>

7 管理体制(組織図)

平成30年4月1日現在



施設長	1 人
次長	1 人
福祉指導幹	0 人
課長	2 人
一般職員	54 人
臨時・非常勤職員	10 人
合計	68 人

(パート職員除く)